

3

会場情報

案内放送

- 聞き取りやすい大きさをチェック
● 放送内容は音声だけでなく、文字でも表示

スタッフ(人の対応)

- スタッフが一目で分かるように▶統一された腕章/バンダナ/帽子/ジャンパー/パンフレットなどにスタッフの服装を描く
● 話しかけやすいように、笑顔で丁寧な対応を

4

トイレなどの施設

トイレ

- トイレは「和式」と「洋式」の両方があると良い
● 車いす使用者用のトイレを用意。できない場合は、車いすです使える近くのトイレを案内

休憩所

- いす、テーブルはできるだけ多く用意。「おゆずりください」の表示も
● ブルーシートがあると自由に座れる
● 乳幼児や車いす使用者が、体を伸ばして休める場所(マットなどを使ったフリースペース)

救護

- どこにあるか分かる大きな表示▶赤十字マーク

授乳、おむつ替え

- 授乳、おむつ替え用に、仕切りと敷きマットがあるコーナーを用意。おむつ替えは、障害のある大人も使えるように
● 調乳、おむつ替えは、男性も使用できるように

その他

- 音に配慮した配置▶案内所、道路等の付近には、音が出ない催し物
● 混雑への対応▶警備員を配置。広いスペースや広い席、ベビーカーや車いす使用者、子どもなどの優先席を確保。歩道のみ出し商品、放置車両、自転車の整理(車いすやベビーカーも通れるように)。多くの人が座れるスペースの確保
● 段差や溝▶簡易スロープ板の設置。段差に黄色のテープをはって注意喚起

ちょっとした気遣いで、だれもが楽しめるようになります!

視覚に障害のある人

花火の音がからだに響いて感動しました。
声をかけるときは、まず自分のことを名乗ります。
介助者ではなく、本人に望ましいガイドの方法を伺います。
案内は具体的にします。
○良い例▶「右」「左」「まっすぐ」「〇〇mくらい」
×悪い例▶「あっち」「こっち」



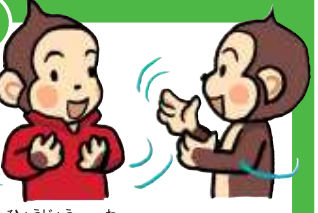
車いす使用者

お手伝いが必要かどうか、どんな方法が良いか、介助者ではなく本人に伺います。
車いすを動かすときは、必ず声をかけます。止めたら、必ずブレーキをかけます。



聴覚に障害のある人

手話や筆談ができるかな?
相手の顔を見て、こちらの表情が分かるように、ゆっくり、はっきり、口を開けて話します。
筆談は、要点を端的に書きます。
▶「いくつ必要?」「値段→300円」など
「筆談します」と見えるところに表示します。



ほかにも様々な人がイベントに訪れます

外国人から来た人 高齢者
言葉が通じないけど休める場所がほしいなあ
赤ちゃん連れの人 子ども
おっぱいをあげられる場所があるかしら?

だれもが楽しめる イベントにしよう!!



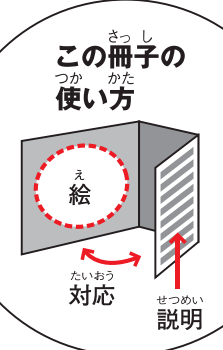
できることから やってみよう
ぼくはユニバーサルの世田谷区

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方を取り入れた企画や運営で、だれもが楽しめるイベントにしよう!!
主催者は、この内容をスタッフで共有し、出店者・参加者にもこの冊子を配布して、できるところから取り組んでみましょう。

※ユニバーサルデザインとは▶すべての区民一人ひとりが尊重され、共に支えあい、すべての人にとって利用しやすいように生活できる環境を作っていくこと。

イベント実施にあたっての心がけ

- ひとりでも多くの方に来ていただく工夫をしましょう。
● だれにでもいろいろな楽しみ方があります。「こういう方は来ない」と決めつけないでね。
● イベントでの出会いを、日常の交流へとつなげましょう。



平成22年3月発行 / 世田谷区都市デザイン課
電話/03-6432-7152 ファクシミリ/03-6432-7996

再生紙を使用しています

1

開催情報・交通手段

情報の発信

- 沿線地域▶ポスター、チラシ、商店街の放送などできめ細やかにPR
● より多くの人に▶ケーブルテレビ、FM世田谷、区報、掲示板、ホームページなど、多様な方法でPR

情報の内容

- ユニバーサルデザインへの対応をしていることがあれば、積極的にお知らせ▶トイレ、駐車場、手話通訳、要約筆記、点字資料、託児サービスなど
● 事前申し込みが必要な場合▶電話、郵送、ファクシミリ、メールなど多様な方法で受付

会場への行き方

- 最寄りの駅やバス停には会場までの案内
● 会場入口を大きな表示で目立つように▶アーチゲート、看板、のぼり旗など
● 会場の入口には、一目で分かる大きな会場案内図を掲示

2

当日の会場案内

案内所

- 案内所は、わかりやすい場所に目立つように。車いすの貸し出しや筆談器、ベビーカー預かり所は、案内の近くに

会場案内図、催しの掲示板、サイン表示

- 会場案内図▶詳細と略図の両方があると良い
● 立て看板・価格表示▶「車いすや子どもの視線の高さに」「離れても見える高い位置」の2か所に。ピクトグラム(図記号)で分かりやすく。
● 本部・救護・トイレの看板は特に分かりやすく

配布物・パンフレット

- 案内所やトイレなどは分かりやすく掲載(例えば、欄外などにまとめ、目立つように)。文字は大きく。白黒コピーでも分かる配色で作成(カラーユニバーサルデザインにも配慮)
● 右のSPコードは、専用の読み上げ装置を使用し、この冊子の内容を聞くことができます。切り欠きは位置を示しています

